

【御礼報告】 電機連合千葉地方協議会 2014年「SAKURAプロジェクト」 「アフガニスタンの子どもたちにランドセルを贈ろう」キャンペーン



千葉地方協議会としての本取り組みは、今年で2年目となります。(電機連合としては11年目です。)
その目的は、現地の人々の子どもの教育に対する意識を高めるとともに、子ども(特に女子)が教育を受ける機会を増やすことにあります。日本の子どもたちが、小学校入学とともにランドセルを背負い通学することは日常的な光景ですが、アフガニスタンでは、長く続いた紛争が2001年に終結したものの、教師や学校施設の不足、家庭の貧困、などを理由にまだまだ多くの子どもたちが学校教育を受けられていません。

特に女性は旧タリバン政権時代に女子教育の必要性が認められていなかったこともあり、15歳以上の女性の非識字率は87%にのぼります。教育を受けられないまま、そして保健や衛生に関する知識を身につけられないまま、結婚・出産をするケースも多く、日本に比べ、妊産婦の死亡率は90倍、5歳未満時の死亡率は60倍となっています。

教育を受けることで救われる命がたくさんあるのです。これまでの取り組みによって、ランドセルを男女に平等に配ることで「女の子も男の子と同様に学校へ通うのが当たり前」という考えが地域で根づきはじめています。また、日本の子どもたちが6年間大事につかっていたランドセルを贈ることで、日本の子どもたちに海外には学校に行きたくても行けない子どもがいることを知り、また、自分が使ってきたものがリユース(再利用)できることを通じてモノを大切に使うことの大事さを学ぶことにつながっていくことも、このキャンペーンの目指すところです。

【御礼報告】 電機連合千葉地方協議会 2014年「SAKURAプロジェクト」 「アフガニスタンの子どもたちにランドセルを贈ろう」キャンペーン



38個のランドセルを

ご提供頂きました。
皆様のご協力に心から

感謝申し上げます。



今回も沢山のランドセルに未使用の学用品
(ノート、鉛筆、色鉛筆、鉛筆削り、消しゴム、
ボールペン)を入れていただきました。
アフガニスタンの子どもたちへ届けます。



【お詫びとご連絡】

今回皆様にご提供頂きました未使用の学用品で
(ノート、鉛筆、色鉛筆、鉛筆削り、消しゴム、
ボールペン)以外は、送付することができません。
事務局にて選別させていただきました。
皆様のご理解をお願い致します。

